

環境経営レポート

2024年度

(対象期間 2024年1月～12月)



2025年4月発行

2025年5月改定

有限会社吉田組

環境経営方針

当社は、創業から生活環境の安全と安心を通して廃棄物収集運搬する企業として多摩の大切な自然を次世代に誇れる美しい環境資源を残すために社員全員の力を結集し最善を尽くした環境負荷低減を目指し 地域、社会に貢献します。

社員の健康で豊かな生活実現を図りつつ、SDGsを考え理解し取り組みます。

行動指針

当社は、安全を第一に考え、地域に安心、信頼される収集運搬業者になるよう

「人材育成」と「コミュニケーション」の充実を図ります。

当社は、環境活動を通じて継続的改善を図るとともに、汚染の防止に努め

持続可能な社会の構築に貢献します。

① 地域に安心、信頼されるサービスの提供

- ・安全を第一に考えた業務改善
- ・お客様への丁寧な言葉遣い、配慮
- ・取り残しへの再発防止のための情報提供

② 環境問題への取組

- ・環境負荷の把握、改善
- ・有害物、資源物の分別
- ・「もったいない・再利用」という言葉の再確認
- ・SDGsの周知、理解、行動

1 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進

2 環境関連の法令、規制、協定等を遵守します

3 全社員に環境経営方針に関する教育を行い、環境に対する理解と意識の向上を図ります。

4 この環境経営方針は、ホームページなどで広く一般に公開します。

制定日：2023年5月1日

改定日：2024年1月10日

有限会社 吉田組

代表取締役 吉田 登

1. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名
 有限会社 吉田組
 代表取締役社長 吉 田 登
- 2) 所在地
 本社営業所 東京都小平市美園町1-1-2
 東大和営業所 東京都東大和市奈良橋4-644-3

 ※全組織が認証登録
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者・連絡先
 環境管理責任者 次長 堀 江 智 之
 担当者 藤 本 祥 輝
 TEL:042-341-2932 E-mail:tm5ecyf3@gmail.com
- 4) 事業活動内容
 一般廃棄物収集運搬、資源物及び廃家電の収集運搬
- 5) 事業の規模

	2022年(1月～12月)	2023年(1月～12月)	2024年(1月～12月)
売上高(万円)	36,871	38,545	36,506
収集運搬量(t/年)	10,958	10,885	10,581
従業員数(人)	46	46	45
床面積(m ²)	142.52	142.52	142.52
敷地面積(m ²)	997.82	997.82	997.82

- 6) 事業年度 4月～3月
- 7) 情報公表項目:処理実績
 - (1) 法人設立年月日: 平成9年4月
 - (2) 資本金: 2,500万円
 - (3) 許可の内容:

許可地区、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、(許可年月日、許可の有効年月日)

許可地区	許可区分	許可番号
	一般、産業廃棄物の種類	許可年月日
小平市	一般廃棄物収集運搬業(積替・保管を除く)	7号
	可燃物、不燃物、資源物、事業系一般廃棄物	令和6年4月1日
		令和8年3月31日
小平市	特定家庭用機器廃棄物収集運搬業	7号
	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機、電気冷凍庫、衣類乾燥機	令和6年4月1日
		令和8年3月31日
東大和市	一般廃棄物収集運搬業(積替・保管を除く)	4号
	可燃物、不燃物、資源物、事業系一般廃棄物	令和6年4月1日
		令和8年3月31日
立川	特定家庭用機器再商品化第2条第4項	35号
	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機、電気冷凍庫、衣類乾燥機	令和6年4月1日
		令和8年3月31日

(4) 施設状況:

収集運搬業 : 運搬車両の種類と台数

収集運搬車両	台数	本社	東大和
・パッカー車(3t)	15台	8台	7台
平ボディ(2t)	7台	4台	3台
軽トラック	2台	1台	1台

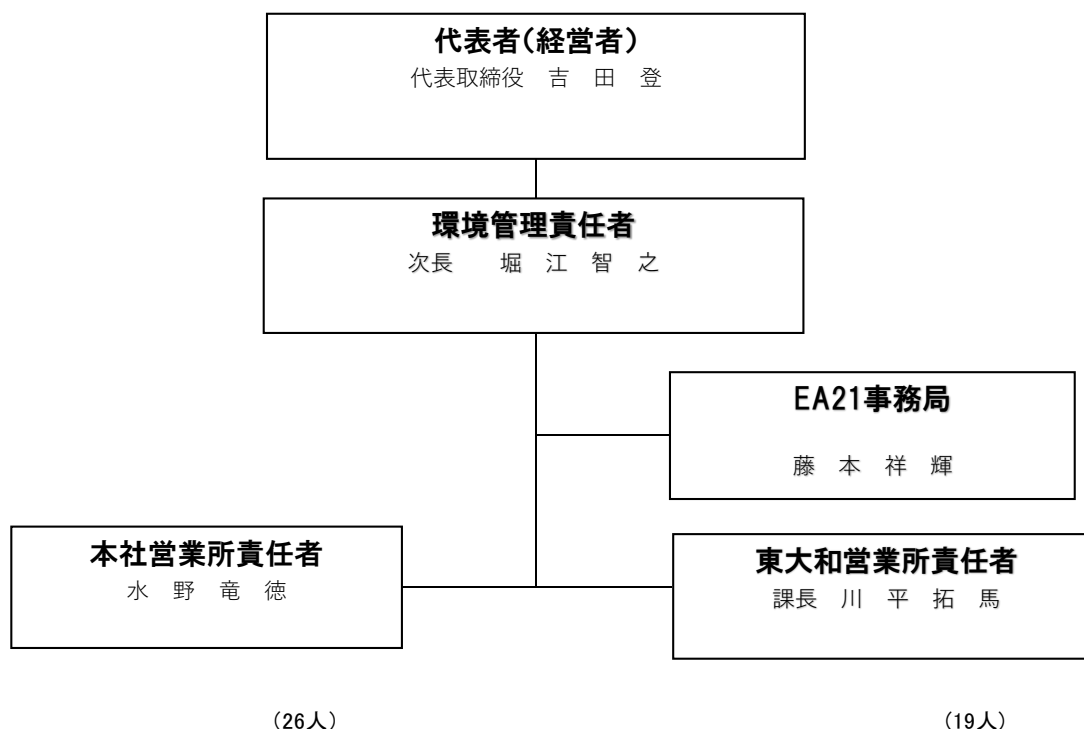
(5) 処理実績: 環境への負荷の自己チェック、別紙②受託した収集運搬量

事業年度	種類	収集運搬量(t)
2023年度(1月～12月)	可燃	7,418
	不燃	427
	可燃性資源	151
	不燃性資源	1,289
	家電	2.5

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象組織 「1. 2) 所在地」欄に記載
- 2) 事業活動 「1. 4) 事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日
レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

3. 実施体制



役 割	責任および権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化(要求事項1) 2. 経営における課題とチャンスの明確化(要求事項2) 3. 環境経営方針の作成、全従業員に周知(要求事項3) 4. 実施体制の構築(要求事項7) 5. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 6. 代表者による全体の評価と見直し・指示(要求事項14) 7. 環境活動レポートの承認 8. その他
環境管理責任者 (EA21事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価(要求事項4:事務局担当) 2. 環境関連法規の取りまとめ(要求事項5:事務局担当) 3. 環境目標及び環境活動計画の策定(要求事項6) 4. 環境コミュニケーションの実施(要求事項9) 5. 取組状況の確認及び問題の是正及び予防(要求事項13) 6. 環境関連文書及び記録の作成・管理(要求事項12:事務局担当) 7. 環境活動レポートの作成・公表(事務局担当)、確認(環責) 8. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施(要求事項8) 2. 実施及び運用(要求事項10) 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応(要求事項11) 4. その他

4. 2024年度 環境経営目標

作成年月日： 2024年 1月5日

No	環境方針	環境目標項目	責任者	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標		
				(2021～ 2023年度)		2024 年度	2025 年度	2026 年度
1	二酸化炭素 排出量の把握 改善	電力使用量	水野 藤本	電力使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 1.1 %削減	基準値に対し 1.2 %削減
				16,031	0.376	15,871	15,855	15,839
				kWh	(東電)	kWh以下	kWh／年以下	kWh／年以下
		化石燃料 消費量	水野 藤本	油種別消費量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 1.1 %削減	基準値に対し 1.2 %削減
				都市ガス<Nm ³ >	2.16	607.9	607.2	606.6
				614		Nm ³ 以下	Nm ³ ／年以下	Nm ³ ／年以下
				ガソリン <L>	2.32	767.3	766.5	765.7
				775		L以下	L／年以下	L／年以下
				軽油 <L>	2.58	42,088	42,045	42,003
				42,513		L以下	L／年以下	L／年以下
				化石燃料合計<kg-CO2>		111,680	111,567	111,454
				112,808		kg-CO2以下	kg-CO2／年以下	kg-CO2／年以下
		計 (kg-CO ₂)		118,835		117,647	117,528	117,409
				kg-CO ₂		kg-CO ₂ 以下	kg-CO ₂ ／年以下	kg-CO ₂ ／年以下
2	水使用量の把握、改善	水野 藤本	本社営業所	水道使用量	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 1.1 %削減	基準値に対し 1.2 %削減	
				366	362.3	362.0	361.6	
				m ³ ／年	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	
			東大和営業所	水道使用量	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 1.1 %削減	基準値に対し 1.2 %削減	
				293	290.1	289.8	289.5	
				m ³ ／年	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下	
3	運搬車両の燃費改善	水野 藤本	燃費	基準値に対し 1 %向上	基準値に対し 1.1 %向上	基準値に対し 1.2 %向上		
			4.31	4.353	4.357	4.362		
			km/L	Km/L	Km/L	Km/L		
4	可燃物の把握、管理	水野 藤本	可燃物	○	○	○		
	資源物の把握、管理	水野 藤本	資源物	○	○	○		
5	安心と信頼のサービス	水野 藤本	安全第一の業務、運行 お客様へのサービス	○	○	○		

※二酸化炭素排出係数は2022年東京電力実績の0.376kg/kWhを適用した。

※2021年～2023年の平均値を基準値として採用。

※安全を考慮し無理のない業務を運行する為、目標値より5%のボーダーラインを設け
その範囲内は許容範囲とする。

※可燃物、資源物の項目の達成評価は廃棄物を把握、管理出来ているかどうかで評価する。

※気温の変化や従業員の体調管理を考慮し電気使用量のみ最大値を採用。

5. 2024年度

環境経営計画及び実施状況

担当者 水野 藤本

No.	環境目標項目		CO ₂ 排出	実績評価項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間計
1	二酸化炭素排出量の改善	1)電力使用量	0.376	電力 kWh	目標値	1,607	1,824	1,139	1,144	1,035	1,255	1,439	1,535	1,382	1,173	1,085	1,252	15,871
					実績値	1,280	1,238	1,271	999	1,014	1,011	954	985	993	924	930	1,014	12,613
					達成評価	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2)化石燃料消費量	2.16	都市ガス Nm ³	目標値	136	120	109	70	43	9	1	0	0	0	47	75	608
					実績値	123	114	49	1	1	2	1	2	1	4	38	81	417
			2.32	ガソリン (L)	目標値	76	73	78	63	62	64	58	61	59	58	52	64	767
					実績値	17	19	30	21	24	24	23	31	22	29	30	32	301
			2.58	軽油 (L)	目標値	3,157	3,190	3,330	3,446	3,775	3,619	3,735	3,784	3,727	3,446	3,384	3,492	42,088
					実績値	3,343	3,456	3,100	3,540	3,963	3,478	4,578	4,009	3,817	3,729	3,343	3,541	43,896
				合計< kg—CO ₂ >	目標値	8,615	8,658	9,008	9,189	9,975	9,506	9,773	9,905	9,752	9,027	8,952	9,319	111,679
					実績値	8,066	8,314	7,374	8,270	9,256	8,134	10,680	9,385	8,916	8,735	7,915	8,473	103,516
					達成評価	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
			計	CO ₂ 排出 kg	目標値	9,219	9,344	9,436	9,619	10,364	9,978	10,314	10,482	10,272	9,468	9,360	9,790	117,647
					実績値	8,548	8,779	7,852	8,645	9,637	8,514	11,039	9,755	9,289	9,082	8,265	8,855	108,259
					達成評価	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
2	水使用量の改善	本社営業所	水 使用量 m ³	目標値	0.0	55.4	0.0	56.4	0.0	53.5	0.0	69.3	0.0	63.4	0.0	64.4	362.3	
				実績値	0.0	61.0	0.0	62.0	0.0	54.0	0.0	55.0	0.0	64.0	0.0	58.0	354.0	
		東大和		目標値	51.5	0.0	45.5	0.0	41.6	0.0	47.5	0.0	53.5	0.0	50.5	0.0	290.1	
				実績値	53.0	0.0	48.0	0.0	52.0	0.0	51.0	0.0	52.0	0.0	50.0	0.0	306.0	
				達成評価	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	
3	運搬車両の燃費改善			燃費 km/l	目標値	4.51	4.66	4.73	4.65	4.23	4.41	3.69	3.87	4.16	4.46	4.61	4.65	4.35
					走行距離計	14988	15033	15383	15824	16044	14321	16465	15345	15245	16055	15024	16297	186024
					燃料使用量計	3408	3429	3435	3632	3816	3554	4321	4047	3817	3575	3343	3631	44008
					燃費実績	4.40	4.38	4.48	4.36	4.20	4.03	3.81	3.79	3.99	4.49	4.49	4.49	4.23
					達成評価	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
4	可燃物の把握、管理		一般廃棄物 kg	可燃去年	25.8	23.3	17.5	23.0	14.5	24.4	14.2	22.6	14.7	24.8	24.1	28.8	257.7	
				実績値	16.2	26.1	21.9	22.6	25.1	17.3	23.5	21.8	18.8	16.8	20.8	32.7	263.6	
				評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	資源物の把握、管理			プラ去年	6.7	5.7	9.1	6.5	7.9	5.6	9.9	9.8	6.8	10.1	6.5	6.9	91.5	
				実績値	8.1	6.7	5.4	6.0	6.5	8.4	7.9	7.0	4.3	9.2	5.1	6.0	80.6	
				評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は東電2022年実績を適用。電気使用量の目標値は2021年～2023年の期間内の月毎の最大値を適用

注2) 従業員の人数変動や変動値の把握が非常に困難となっているため

①目標値より5%までをボーダーラインとする。

②ボーダーラインは達成評価のみに利用する。

ボーダーラインを設け、この数値以上に使用した際は対策を考える。

③必要とあらば、ボーダーラインの変更を行う。

注3) 可燃物、資源物の項目の達成評価は廃棄物を把握、管理出来ているかどうかで評価する

6. 2024年度 環境経営目標の実績

作成年月日： 2025年1月15日

No	環境方針・目標項目		責任者	基準値		CO2 換算係数	目標	実績	評価
				(2021～2023年度)			2023年1月～2023年12月		
1	二酸化炭素 排出量の把握改善	電力使用量	水野 藤本	電力使用量			基準値に対し 1 %削減	12,613 kWh	○
				16,031 kWh／年		0.376	15,871 kWh／年以下		
		化石燃料 消費量	水野 藤本	年間消費量			基準値に対し 1 %削減	417 Nm ³	○
				都市ガス <Nm ³ >		2.16	608		
				614			Nm ³ ／年以下		
				ガソリン <L>		2.32	767	301	○
				775			L／年以下	L	
				軽油 <L>		2.58	42,088	43,896	○
				42,513			L／年以下	L	
				化石燃料合計<kg-CO2>			111,679	103,725	○
				112,807			kg-CO2／年以下	kg-CO2	
		計 (kg-CO ₂)			118,835 kg-CO ₂		117,646 kg-CO ₂ ／年以下	108,259 kg-CO ₂	○
2	水使用量の把握、改善	水野 藤本	本社 基準値			本社 1%削減	354.0	○	
			366			362			
			東大和 基準値			東大和 1%削減	306.0	○	
			293			290.07			
3	運搬車両の燃費改善	水野 藤本	4.31 km/L			4.35 km/L以上	4.24 km/L	○	
4	可燃物の把握、管理	水野 藤本	可燃 kg (去年実績)					可燃	○
			257.7					263.6	
	資源物の把握、管理		プラ kg (去年実績)					プラ	○
			91.5					80.6	
5	安心と信頼のサービス		水野 藤本	安全を第一に考えた業務、運行 お客様への言葉遣い、配慮、サービス					○

※二酸化炭素排出係数は2022年東京電力実績の0.376Kg/kwhを適用した。

※目標値より5%のボーダーラインを設け、範囲内は許容範囲とする。

※可燃物、資源物の項目の達成評価は廃棄物を把握、管理出来ているかどうかで評価する。

※気温の変化や従業員の体調管理を考慮し電気使用量のみ最大値を採用。

※基準値は2021年～2023年までの3年間平均としています。

7. 2024年度

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

作成年月日：2025年1月30日

No.	環境目標項目		責任者	取組内容	取 組	
					結 果 ・ 評 価	次年度の内容
1	二酸化炭素 排出量の改善	電力使用量	水野 藤本	①不使用照明の消灯	①②③徹底できている。 今年度は夏季の従業員の安全面を考えた 早退自宅待機体制の影響により使用して ない部屋の電力は早めに消灯出来た。空 調も同様に適温化も安全第一で取り組め ています。	①②③徹底継続。 次年度、夏季早退自宅待機体制を継続か どうか定かではないです。引き続き取組徹 底に努め安全第一かつ、無駄な使用に気 を付けて活動していきます。
				②空調の適温化(冷房26、暖房22度)		
				③設備機器の定期的メンテナンス実施		
		車両等の燃料 消費量	水野 藤本	①エコドライブの励行	①②③徹底できている。 安全を考慮し出来るエコドライブを実施出 来ています。車両、タイヤの定期点検も徹 底継続してます。	①②③徹底継続。 来年度も搬入場所の定期的変更や組合内 での持ち回り臨時収集等、継続ですが安全 第一でエコドライブを実施していきます。
②車両の点検整備						
③エア圧の適正化点検						
2	水使用量の改善	水野 藤本	①節水表示	①②徹底できている。 ③本社の方ですが、11月まで高圧洗浄機 は活用できていたんですが、その月に故 障し使用不可となってしまいました。今後 は家庭用ホース2台となります。	①②③徹底継続。 本社に関しては高圧洗浄機は無いので ①②徹底継続。高圧洗浄機がない分数値 に変動が考えられますが引き続き無駄な 使用がない様全従業員に周知していきた い。	
			②散水は必要最小限化			
			③洗車は高圧洗浄機で節水			
3	運搬車両の燃費改善	水野 藤本	①各車両の走行距離・消費燃料を管理	①徹底できている。	①各々の車両燃費を常に自分たちも把握 するように徹底してもらい燃費を維持でき るように考えてもらう。	
4	廃棄物 排出量 把握管理	可燃物の 把握管理	水野 藤本	①分別徹底による資源物の増加	①②③④徹底できている。 夏季の安全面を考えた早退自宅待機体制 の影響により今年度も可燃ゴミプラ共に排 出量は減少した。排出量の周知も出来て います。	①②③④徹底継続。 次年度、夏季早退自宅待機体制を継続か どうか定かではないです。取組自体は全従 業員に定着出来ているので排出量把握と 同時に環境への意識を維持できるように共 有していこうと思います。
		資源物の 把握管理		②排出量の把握		
				③空き缶・ペットボトルの自販機回収		
				④裏紙使用で紙使用量削減		

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社に關係する環境関連法規等は下記の通りですが、遵守状況を2024年6月に確認した結果違反がありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありませんでした。

2024年6月

区分	環境関連法規等名称	法令条項	当社 該当事項	法規制等要求事項・遵守事項	遵守 評価
廃棄物	廃棄物処理法 (一般廃棄物の処理)	法6の2	一般廃棄物の 処理委託	①一般廃棄物を適正に分別し保管 ②一般廃棄物の処理業の許可取得業者に運搬、処分を委託する	○
	廃棄物処理法(一般廃棄物の収集運搬業)	法7	一般廃棄物の 収集運搬業	①事業を行う地域の区長、市長の許可を取る ②政令で定める期間(2年)ごとに更新する。 ③一般廃棄物処理基準に従い、収集、運搬又は処分を行う。 ④一般廃棄物の収集若しくは運搬又は処分を他人に委託しない。 ⑤収集または運搬年月日、収集区域又は受入先、運搬先ごとの運搬料を毎月末までに記載する。 ⑥帳簿は、一年毎に閉鎖し、閉鎖後5年間事業場毎に保存する	○
産業 廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)(産業廃棄物の適正管理)	法12.5～7 法12の2.5 ～7令6の 2.3	産業廃棄物の 処理委託	①収集運搬、処分事業者と産廃処理委託基準及び特別産廃委託基準い従って二者間委託契約 ②契約者記載事項 ・種類、数量、性状、荷姿、最終処分、金額	○
		法12.5～7 令6.2.3規8 19～38		①産業廃棄物(マニフェスト)の交付 ②管理表の回収管理 回収期限—B2・D票90日(特別産業廃棄物は60日)以内、E票180日以内上記以内に送付されない場合、必要事項が記載されていない場合或いは虚偽の記載がある場合は、30日以内に知事への報告 ③産業廃棄物の処理を適正に行うことが困難とであるという通知を処理委託先から受け、B2・D・E票が返送されていない場合は、適切な措置を講じ通知を受けた日から30日以内に知事へ講じた措置について報告 ④管理表の保管義務5年 ⑤産廃管理表交付報告書提出	○
資源 循環	家電リサイクル法	法6	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの廃棄	①料金を支払い、適切に引き渡す。特定家庭用機器廃棄物管理票の写しを1年間保管	○
	自動車リサイクル法		自社車廃棄	①自社使用済み自動車を廃車にする場合は、引き取り業者に引き渡す。	○
大気汚 染	フロン排出抑制法	法16 法37 法39	フロン使用業務用空調機器の点検整備	①危機の設備環境・使用環境の維持保全と点検、簡易点検実施 ②漏洩・故障時は修理を実施する。 ③点検整備記録簿を備え、当該製品廃棄後充填回収業者がフロン類を引き取ってから3年間の保存 ④フロンを充填する場合、第一種フロン類充填回収業者に委託。充填したら充填証明書の交付を受ける ⑤フロン類の回収をした場合、第一種フロン類充填回収業者から回収証明書の交付を受ける	○
		法41法43法 45条3項 法74条6項	フロン使用業務用空調機器の廃棄	①第一種フロン回収業者にフロン類を引渡 ②回収依頼書又は委託確認書交付・写保管(3年) ③引き取り証明書保存(3年) ④料金を支払う	○
	自動車NoxPM法	法6.法12	トラック	①自動車NoxPM法排ガス基準適合車の使用	○
	東京環境確保条例	条37	ディーゼルトラック	粒子状物質排出量基準の遵守	○
	小平市ごみ収集委託仕様書		小平市委託業務	①一般廃棄物収集運搬仕様書に従う ②トレイ・紙パック回収運搬業務仕様書に従う ③暴力団排除に関する特約条項遵守	○
その他 要求事項	東大和市ごみ収集委託仕様書		東大和市委託業務	①一般廃棄物処理計画に従い収集及び運搬を行う ②暴力団排除に関する特約条項遵守	○

2、責務(努力義務)のある法規関連

資源循環	循環型社会形成推進基本法	法7法11	廃棄物の抑制 リサイクル 中古品の使用	①非鉄筋族資源の再資源化推進	○
	リサイクル法	法1	3Rの推進	3R原則の教育と実践	○
	容器包装リサイクル法	法4	缶、瓶 ペットボトル	①対象品目：缶、瓶、ペットボトルのリサイクル	
省エネ	省エネ法	法4	電力使用の削減	①省エネ推進	

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し実施日	2025年 2月 7日	(☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)
見直し対象期間	2024年 1月5日 ~ 2024年 12月 31日	
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者	
前回の指示への取組結果	達成でした。	
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(環境活動計画兼実績書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正/予防処置報告書による) ④外部からの環境に関する苦情などの受付結果(外部コミュニケーション記録による)	
代表者による 評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、③、④等を踏まえて評価) 全従業員が取組を継続し環境に向けて協力し業務を遂行出来ています。今年度も従業員側から環境に対しての意見も出てきており、環境への意識も高く維持できている事を考慮すると環境経営システムは友好的に活用できている。次年度も従業員、取組を継続、維持し環境経営システムも友好的に活用していきます。	
	【環境への取組が適切に実施されているか】 (②等を踏まえて評価)	
	目標項目	目標達成状況 活動計画実施状況 目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	二酸化炭素排出量	☐ ☐ 各項目について未達の月もあったが、全体的に判断すると数値は下がっている。特に7月以降の電気使用量に関しては、夏季に早上がりを実施した事で減少したと考えられる。
	廃棄物排出量	☐ ☐ 取組は意識を持って活動できており廃棄物自体は減っている。引き続き従業員の意識を維持していきたい。
	水使用量	☐ ☐ 今年度は目標を達成できた。従業員の取組は徹底できており節水の意識を維持できている。ただ東大和営業所の使用量が増加している月があるので注意して見ていきたい。
	運搬車両での燃費	☐ ☐ 各車両で燃費等把握は出来ており取組も徹底できている。
	可燃物、資源物の把握、管理	☐ ☐ 各営業所ともに管理表にまとめられている。収集運搬業者として、今後とも分別の徹底を行ってほしい。
代表者による 見直し・指示 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的な指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無	
	【環境経営目標及び環境経営活動計画】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無	
	【実施体制】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無	
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無	
	【総括】 (環境活動レポートに転記) 本年度は酷暑が続いたため従業員の体調を考慮し、業務終了時の帰宅を行った。電気使用量等が削減されていたので参考にしてほしい。昨今は季節の変わり目が判断し難い日が多く、怪我や体調を崩す社員がいた。従業員の体調管理をしつつ怪我や事故のない労働環境を継続して考えていかなければならない。	

注) ①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。

②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。

③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。

所在地の地図

